



会長 高山泰四郎  
幹事 坂本 肇

### 会長テーマ

### 「ロータリーの魅力を探ろう！」

例会日／毎週月曜日 12:30～  
例会場／トキハ会館 4F  
TEL 097-532-0611  
FAX 097-532-8386

- ・例会出席によって……
- ・委員会活動の実践で……
- ・地区行事への参加で……
- ・家庭集会の場で……



2013～14年度  
国際ロータリーのテーマ

「ロータリーを實踐し  
みんなに豊かな人生を」

R I 会長  
RI第2720地区ガバナー  
ガバナー補佐

ロンD・バートン  
赤山武興  
赤嶺 昭

### ■ 本日のプログラム (6月9日)

12:30 点 鐘  
会 食  
ロータリーソング 「我等の生業」  
ゲスト・ビジターの紹介 会長 高山泰四郎  
会長の時間 会長 高山泰四郎  
出席報告 出席担当 穂田英一郎  
幹事報告 幹事 坂本肇  
委員会報告 「関係委員会」  
ニコニコタイム 吉良昌一

13:00 卓話「市街地再生の要件  
—大分市中心市街地への投影—」  
姫野 由香 様(大分大学工学部助教)

### ■ 第37回例会の記録 (6月2日)

・出席報告 (6月2日)

会員総数	17名(うち名誉会員2名)
6月2日	
出席免除	2名
出席会員数	12名
出席率	80%
ゲスト	0名
ビジター	0名
5月19日	
修正出席率	86.67%

### ■ 次週の例会 (第39回 6月16日)

クラブ協議会「新年度について」  
～コンパルホールにて～

### ロータリーソング

### 【我等の生業】

なりわい  
我等の生業さまざまなれど 力むるところは向上奉仕  
集いて図る心は一つ おお ロータリアン  
やわらぎ むつみ  
求むるところは平和親睦 我等の集い

### 会長の時間 (6月9日)

会長 高山泰四郎

### 「最近の中小企業政策について」

最近、国や自治体の中小企業政策に、大きな変化が起っています。全国の企業数の99%を占める中小企業は、従来「中小企業」という一括りで表現されて来ましたが、最近では「中小・小規模企業」という表現に変わって来ました。これは、中小企業の中でも、圧倒的多数を占める「小規模事業者」に、政策の光が当てられ始めた事を意味します。その変化の流れを追ってみましょう。

(一)「中小企業憲章」の閣議決定

先ず平成22年6月に「中小企業憲章」が閣議決定されました。その基本理念には「中小企業は社会の主役であり、経済を牽引する力である」と謳われており、中小企業は「国の宝」とであると書かれています。国の総力を挙げて中小企業を支え、どんな問題も中小企業の立場で考えてゆくことを宣言した画期的なものでした。

(二)「大分県中小企業活性化条例」の制定

続いて、平成25年3月には「中小企業憲章」の考え方の流れを受けて、「大分県中小企業活性化条例」が制定されました。

地域経済と雇用を支える中小企業の活性化を、県を始め産学官の総力を結集して進めて行こうという趣旨の条例です。県民の方々にも、中小企業の存在意義を改めて認識して頂く事も、条例の大きな目的の一つです。今後の進展を期待しています。

(三)「小規模企業振興基本法」の制定

以上のような流れを受けて、今通常国会で「小規模企業振興基本法」が成立する見込みとなっています。これまでの中小企業政策では、ごく一部のヤル気のある「優良企業」を支援することで、全体を引き上げる政策が採られて来ましたが、最近では地域に根を張って経営を維持することを望んでいる圧倒的多数の小規模事業者(ボリュームゾーン)に広く手を差し伸べる事に方向転換したのです。この方向転換の理由の一つは「急速な企業数の減少」であります。

崩壊の危機にある地域経済の再生のために、「中小企業憲章」・「県中小企業活性化条例」・「小規模企業振興基本法」により、「地域振興と活性化」の共通認識を持つことが、今求められている事を痛感しています。

### ゲスト・ビジターの紹介

ゲスト  
戸上 京美 様(豊後大野市役所 高齢福祉課保健師)

## 戸上 京美 様(豊後大野市役所 高齢福祉課)

豊後大野市役所に勤務されている、戸上京美様より「笑って笑って脳元気(認知症とその予防)」の演題でご指導を受けました。参加者全員で輪になり、体の柔軟運動、指を使った運動、記憶のゲーム等を楽しみながら話を交えながら行い、己の年齢とのギャップ?に笑いあり、驚きありの充実したあつという間の30分となりました。

今後の為にも、日々の心がけで頑張る必要あり?と自覚させられた時間でした。継続してがんばりましょう!



## 電子化が進むロータリーの世界

## ロータリーの友6月号より

デジタルデバインドという言葉をご存知だと思います。これはコンピューターやインターネットを利用すると、それができない人の間に、情報格差が生じるという意味です。インターネット経由でさまざまな情報が入るようになって久しいのですが、ここ数年はソーシャルネットワーキングの発達に伴い、その可能性がますます広がってきています。ロータリーの世界も、決して例外ではありません。今から10年余り前、国際ロータリー(R I)がウェブサイト(ホームページ)を開設しましたが、それはロータリー情報を一方的に発信するだけの初歩的なもので、また、英語だけでしたから、コンピューターやインターネットの知識のほかに、英語力がなければ、そこから情報を入手することはできませんでした。

その後、R Iのウェブサイトも改良され、英語以外の言語も提供されるようになりました。ロータリー財団に自分がどのくらい寄付をしているのか、といった情報を見ることもできるようになりました。

昨年8月にリニューアルされたウェブサイトでは、一般の人たちに向けた広報と、ロータリアンに向けた情報・資料などのページに分かれ、ロータリアンは、より多くの情報が利用できるようになっています。

「My Rotary」から入るロータリアン向けのページにあるのは、単に一方的な情報ばかりではありません。自分の寄付の状況を知ることができるだけでなく、寄付をすることもできます。ロータリー財団への寄付や会員増強など、クラブが設定した目標の達成度を見ることもできますが、そのためにはクラブが目標を「ロータリークラブ・セントラル」に登録する必要があります(していないクラブが多いとのこと)。

ロータリーについて知るための資料や研修用のパワーポイントなども、「My Rotary」で入手することができます。クラブの奉仕活動を投稿して、全世界のロータリアンと共有することもできます。R Iのウェブサイトの下には「Facebook」「Twitter」

「YouTube」などのアイコンがありますが、クリックすると、それらのサイトのロータリーに関連する欄にアクセスすることができます。

ここであまり知られていないのが「Vimeo」。「V」をデザイン化したアイコンをクリックすると、ここにはロータリーのさまざまな活動の動画があります。また、国際協議会でのR I会長エレクトの講演なども入っています。これらの動画は用途に合わせて適切な解像度で使えるようになっていて、ダウンロードする際に選ぶことができます。ほとんどの動画には日本語の吹き替え版があり、例会で会員にロータリーの活動について知ってもらうために使うことができるでしょう。さらに、一般の人々にロータリーの活動を知ってもらうためにも活用できます。

電子化が進むのはR Iだけではなくありません。「The Rotarian」だけではなく、ロータリー地域雑誌も電子版で読むことができるようになってきました。『ガバナー月信』や『クラブ会報』も印刷版をなくし、ウェブサイトからダウンロードするようにしている地区やクラブが増えてきました。会員へのお知らせをEメールで送るクラブも少なくありません。

こうなってくると、コンピューターを使わないロータリアンは取り残されてしまうかもしれません。何事にもチャレンジ精神旺盛なロータリアンですから、80歳を過ぎてからコンピューターを覚えて使いこなしているという話を耳にすることもあります。若い会員から教えてもらえば、それらの人たちとの距離が近くなるかもしれません。

しかし、「やっぱり苦手」というロータリアンが置いていかれないように、クラブや地区では情報の伝達方法を工夫する必要があります。さらに大切なのは、これらの新しいツールに振り回されたり、使われたりするのではなく、うまく利用できるよう、アイデアを出し合い、共有することだと思います。

## ニコニコタイム (6月2日分)

## ★大久保 修身 会員(自主1口)

昨年9月以来、8ヶ月ぶりの上京でした。病気のためごぶさたしていた仕事ことができましたことに感謝してニコボックスいたしました。東京での4日間、元気をいっぱいもらいました。

## ★藤本 保 会員(自主1口)

5月31日～6月1日、青森県の弘前市に学会で行きました。学会の事務局を引き受けていますことから、総会で全て認められ、ほっとしています。

## ★高山 泰四郎 会員(自主1口)

昨日(6月1日)日曜日に、日田市パトリアに於いて、孫(女の子・四歳)の日本舞踊の発表会がありました。可愛らしい姿に涙が出ました。感謝して1口。